



STAR'S REPORT

2014年2月期 報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2014年2月期(2013年3月1日から2014年2月28日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2014年5月



取締役社長
佐藤 肇

当期(2014年2月期)の当社グループの業績概況は、前半は厳しい事業環境が続いたものの、後半からは工作機械の受注回復が進むなど、前半と後半で様相が大きく変化した1年となりました。

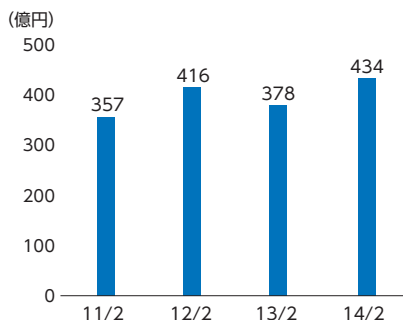
当期概況について

当期における経済情勢は、米国経済は緩やかな景気回復が続き、低迷していた欧州経済も成長率がプラスに転じるなど景気は回復傾向となりました。また、アジア経済は中国などを中心に成長のペースが鈍化する一方、わが国経済は、為替が円安水準に推移するなか緩やかに回復してきました。

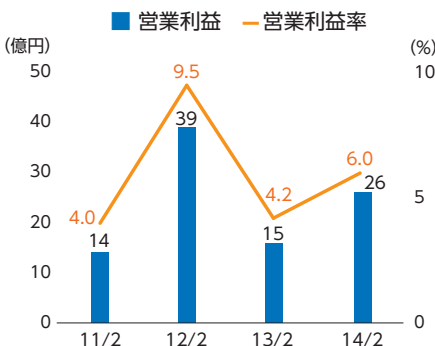
このような状況のなか、当社グループにおいては、工作機械事業は、米国市場や東アジア市場が堅調に推移したほか、前半不振が続いた主力の欧州市場が夏以降、徐々に回復したことに加え、為替の影響もあり、売上は増加しました。特機事業は、小型プリンターのドットインパクト製品が欧州やアジア市場で低迷したものの、サーマル製品が北米や国内市場で堅調に推移したことに加え、為替の影響もあり売上は増加しました。精密部品事業は、腕時計部品は腕時計メーカーの在庫

▶ 連結業績ハイライト

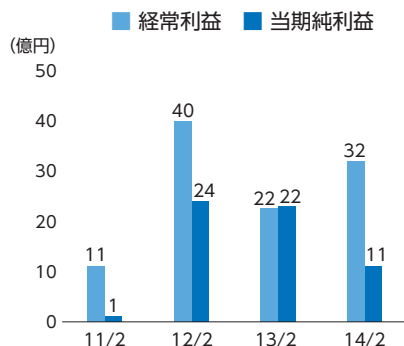
売上高



営業利益／営業利益率



経常利益／当期純利益



調整が進み、後半は回復しましたが、前半の落ち込みが影響し売上は減少しました。非時計部品は、ハードディスク駆動装置(HDD)部品の売上が減少したものの、空調関連部品の売上が好調だったことに加え、自動車関連部品も売上が増加したため、全体の売上は増加しました。

以上の結果、当期の売上高は前期比14.9%増の434億8千1百万円と増収となりました。利益については、売上の増加などにより、営業利益が同65.0%増の26億6百万円、経常利益が同42.8%増の32億1千9百万円と大幅に増加しました。一方、当期純利益は、特別損失として特許権実施に関する和解金6億5千万円を計上したため、特別利益で受取保険金を計上した前期に比べ大幅に減少し同50.3%減の11億4千3百万円となりました。

配当については、1株当たり配当金を年間で34円といたしました。

次期の見通し

戦略としては、これまでどおり欧米市場を大切にしつつ、成長が見込めるアジア市場を見据えた海外展開の強化を基本としていきます。

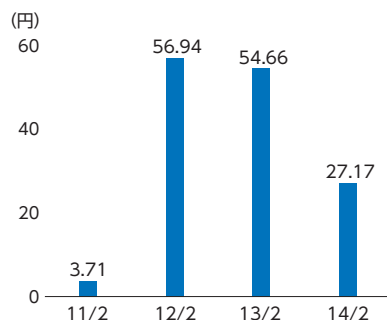
次期の経済情勢については、米国、欧州、アジア、日本とグローバルに景気回復が継続するものとみています。

このような情勢のなか、次期の見通しについては、工作機械事業は欧州やアジア市場を中心に受注が回復することから売上が伸びる見込みです。また、特機事業の売上は欧米市場や中国市場で増加し、精密部品事業も腕時計部品の売上などが増加する見込みです。

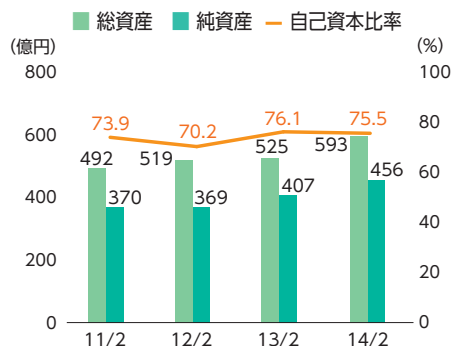
以上により、2015年2月期の業績については、売上高465億円、営業利益47億円、経常利益50億円、当期純利益36億円を見込んでいます。

なお、見通しの前提となる為替レートは、USDドルは100円、ユーロは135円です。

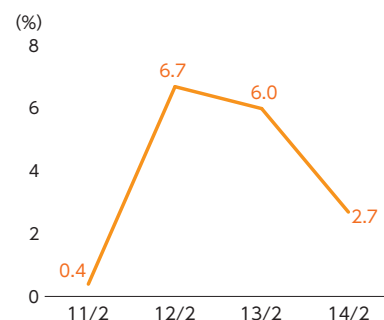
1株当たり当期純利益



総資産／純資産／自己資本比率



ROE(自己資本当期純利益率)



事業別の取り組み

特機事業

特機事業では、小型プリンターのソフト面を強化することで、差別化した競争力のある製品を作り出していきます。独自のSDK(ソフト開発ツール)と組み合わせた当社グループのモバイルプリンターは、成長市場となっているスマートフォンやタブレット端末を利用した決済システムにおいて高い評価を得ており、シェアを拡大しています。

今後も、さらなる成長が続くと期待されるモバイルプリンターに力を注ぐほか、クラウドなどを活用した新たな仕組みづくりも進めていきます。

工作機械事業

工作機械事業では、主力の欧米市場に軸足を置きながらも、成長が続くアジアなどの新興国市場の開拓に力を入れていきます。また、市場ニーズにあわせた戦略的な製品の投入や重複合機のラインアップの充実、さらに、新規分野である主軸固定型自動旋盤のシリーズ化を図っていきます。この分野は、当社がこれまで扱ってきた主軸移動型自動旋盤の倍以上の市場規模があることから、今後開拓を進めていきたいと考えています。生産面では、新しく立ち上げたタイの生産拠点での部品加工までを含めた生産体制を早期に確立し、日本、中国、タイの3拠点による効率的な生産・物流体制の運用を目指します。

精密部品事業

精密部品の切削加工においては、当社グループ並みの規模を持つ企業は少なく、さらにメッキ加工まで一貫して対応できる強みを持っています。これらの強みを活かし、幅広いニーズに応じることで着実に業績を伸ばしていきます。腕時

計部品は国内で、非時計部品は海外で伸ばしていきたいと考えています。中期的には、海外売上高として中国の大連、上海およびタイのアユタヤの3拠点でそれぞれ年間10億円とし、現在の約1.5倍となる30億円を確保して、国内と合わせて50億円規模の売上高を目指します。

中期的課題

現在の当社グループの大きな課題は、新規事業の育成および将来の成長性ということに尽きます。

2009年5月に社長に就任してからの5年間を振り返りますと、米国の金融危機に端を発した世界経済の低迷、東日本大震災、欧州の財政・金融問題など、変化の激しい、また厳しい事業環境下であったと感じています。そうしたなかでも、より強い企業体質を築くための経営を行ってきました。世界経済が大きく低迷した2011年2月期は、無理に売上を追うのではなく在庫削減を徹底し、売掛債権の回収を早めるなどバランスシートの圧縮を進め、より利益の出やすい体制を目指しました。その後も単に売上規模の拡大を目指すのではなく、新製品の開発やタイでの工場建設など、事業の強みを磨く取り組みを実行してきました。また、当期には、長らく厳しい価格競争により収益が上がらなくなっていた小型音響部品事業を譲渡し、事業を終息しました。これらの取り組みにより、強い企業体質に改善できたと思っています。

ただし、現状の3事業では、事業ポートフォリオのバランス、そして将来の成長性という点で問題があります。業績変動の波をできるだけ少なくすることに加え、今後の長期的な事業の発展を考えると、M&Aなどによる新しい事業領域への進出が必要と感じています。当社グループの経営方針である、「単なる売上規模の拡大ではなく、グローバルで

ニッチな市場で収益性を重視していく」という基本方針のもと、世界的に景気回復が見込まれるこの数年の間に、次の成長への礎を構築したいと考えています。

企業価値の向上へ向けて

コーポレート・ガバナンス

当社グループでは、企業価値の持続的な拡大に向け適正かつ効率的な経営に努め、その成果を株主の皆様をはじめとするステークホルダーに適切に配分していくことが、企業に期待される社会的責任であり、コーポレート・ガバナンスの基本であると考えています。

今回、その強化のひとつとして、より多様な価値判断に基づき意思決定ができる経営体制を整えるため、2014年5月22日開催の株主総会において社外取締役1名を選任しました。

資本政策

株主の皆様に対しては、当社の株式を長期的に保有していただける魅力的な会社を目指したいと考えています。

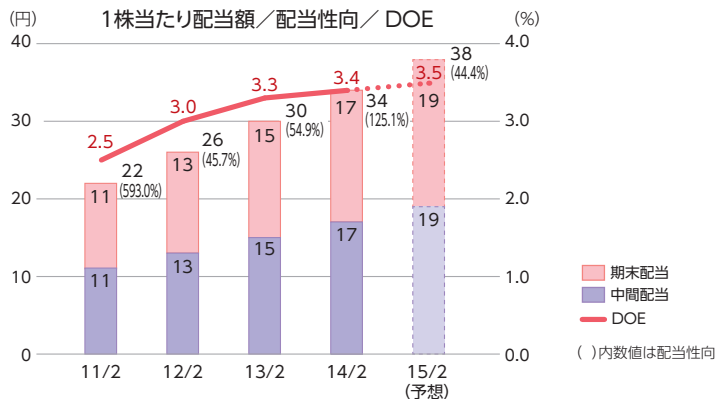
利益配分については、配当性向(連結)40%以上を目標にDOE(連結株主資本配当率)を勘案しながら実施したいと考

えています。当期の配当については、1株当たりの年間配当額を前期よりも4円増配の34円としました。今後も株主の皆様への利益還元を重視し、業績動向を勘案しながら安定的な増配を行い、目標値であるDOE4.5%を目指していきます。

なお、現在保有している約500万株の自己株式については、株式交換によるM&Aでの活用を考えていますが、適切な案件がない場合は、業績の動向を勘案しつつ消却することも検討してまいります。また、新たな自己株式の取得については、状況を見定めながら対応していきたいと考えています。

世界の経済環境は緩やかな回復がみられ、事業環境は好転しつつありますが、まだ楽観できない状況も予想されます。こうしたなか、魅力ある会社となるよう誠心誠意努めてまいりますので、株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主還元



次期の配当については、当期と比べ4円増配の年間で38円(中間、期末ともに19円)を予定しています。また、DOEについては、当期と比べ0.1ポイント増加の3.5%となる予定です。

● 事業別の概況



特機事業

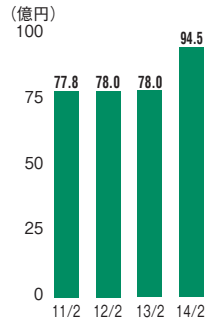
売上高 **9,455** 百万円
(前期比21.1%増)
営業利益 **975** 百万円
(前期比279.0%増)

売上高構成比
21.7%

▶ 当期の概況

小型プリンターのサーマル製品は、緩やかな景気回復が続く北米市場や国内市場の需要が堅調に推移したことや欧州市場での案件獲得に加え、為替が円安で推移したため売上は増加しました。また、ドットインパクト製品も、欧州市場やアジア市場の需要が低迷したものの為替の影響もあり売上は増加しました。

売上高



小型音響部品事業

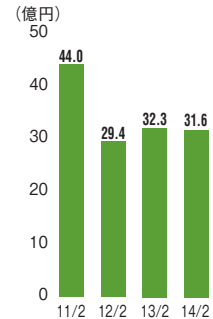
売上高 **3,166** 百万円
(前期比2.1%減)
営業利益 **143** 百万円
(前期は191百万円の損失)

売上高構成比
7.3%

▶ 当期の概況

当事業は、顧客への供給責任を全うしつつ事業終息に向けた活動を進めてきましたが、2014年1月1日付でフォスター電機株式会社への事業譲渡が完了し、事業は終息しました。

売上高



工作機械事業

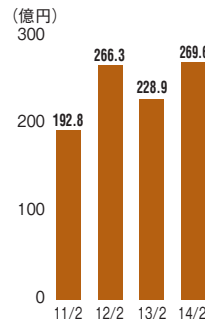
売上高 **26,969** 百万円
(前期比17.8%増)
営業利益 **3,597** 百万円
(前期比15.3%増)

売上高構成比
62.0%

▶ 当期の概況

CNC自動旋盤では、米国市場は医療関連などが堅調に推移するなか為替の影響もあり売上が増加し、アジア市場は、中国市場は伸び悩んだものの、東アジアにおいて携帯端末関連・医療関連向けなどが好調に推移したため売上を伸ばしました。前半不振が続いた主力の欧州市場は、夏以降、徐々に回復したことに加え為替の影響もあり売上は増加し、先行き不透明な状況が続いていた国内市場も後半にかけて自動車関連を中心に売上は増加しました。

売上高



精密部品事業

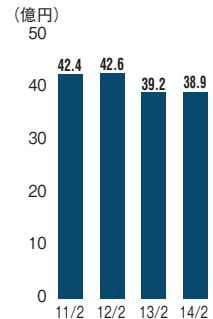
売上高 **3,891** 百万円
(前期比0.8%減)
営業利益 **140** 百万円
(前期比60.6%減)

売上高構成比
9.0%

▶ 当期の概況

腕時計部品の売上は、腕時計メーカーの在庫調整が進んだことから後半は回復しましたが、前半の落ち込みが影響し減少しました。非時計部品は、為替の影響を受けるなか、HD D部品の売上がパソコンの販売減少の影響から前期に比べ減少したものの、空調関連部品の売上が好調だったことに加え、自動車関連部品も売上が増加したため、全体の売上は増加しました。

売上高



● ニュース&トピックス

TOPICS

世界最大規模の国際工作機械見本市 「EMO Hannover 2013」に出展

2013年9月にドイツ・ハノーバーで開催された「EMO Hannover 2013」に出展しました。これは世界中の主要な工作機械メーカーが集い、最高水準の技術と製品を披露する2年に1度の見本市です。今回は世界43か国から2,100社が出展し、6日間にわたる開催期間中に145,000人ももの来場者が訪れました。当社ブースでは「SV-38R」、「SB-20R」など計6台を展示し、連日多くの方にお越しいただきました。

なかでも重複合機SVシリーズ新製品「SV-38R」が注目を集めました。「SV-38R」は、加工部品の全長寸法に応じて、ガイドブッシュとノンガイドブッシュの切り換えを可能としています。また、正面加工用のタレット型刃物台には、国内メーカーでは初の工具旋回制御軸(B軸)を装備しています。さらに背面加工専用刃物台を搭載し、正面と背面での同時加工を可能にするなど、従来機と比べ機能を充実させ、生産性を高めています。今後、医療・自動車関連などの複雑形状部品の分野での利用が見込まれています。



スイス型CNC自動旋盤SV-38R

NEWS

振動により電気を起こす小型振動発電ユニットを開発

外部からの微小な振動により発電する小型振動発電ユニットを開発しました。これは当社が長年培ってきた小型化技術、音響関連技術を活かしたコイルとマグネットによる電磁誘導型の小型発電ユニットです。

これまで機械や構造物の振動、歩行などの振動はエネルギーとして活用されていませんでしたが、これらの振動をエネルギーに変換し、無線センサーネットワークの電源や自発光LEDの電源などに活用することができます。また、電力を自ら作り出すため電池交換の必要がなく、密閉性、防水性、防塵性を備えた製品を実現できます。

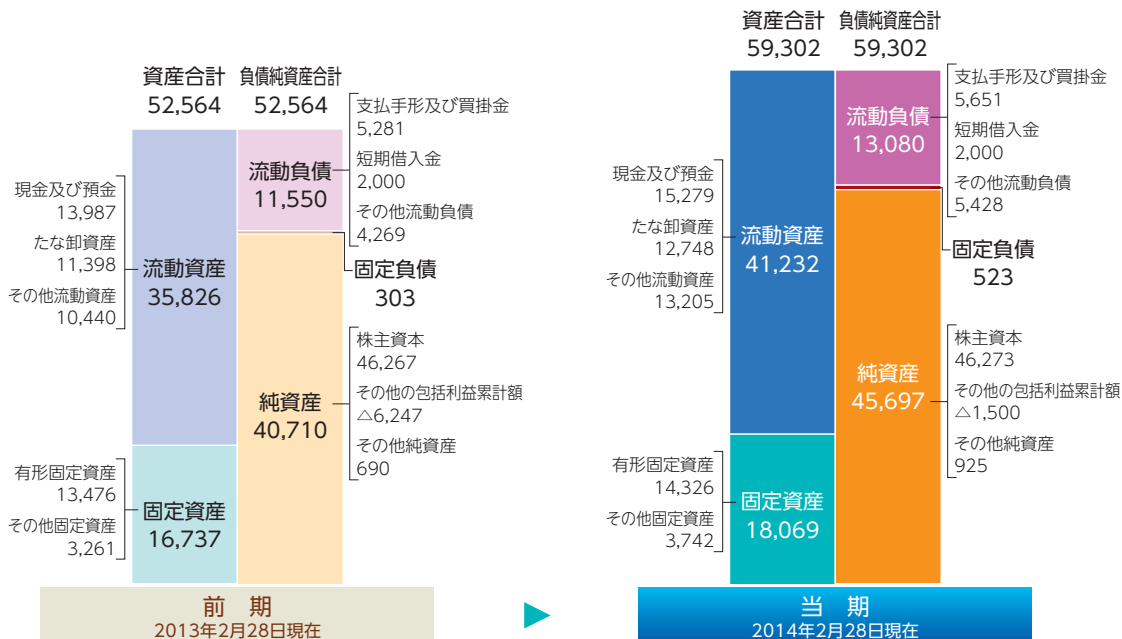
小型振動発電ユニット実用化の第一弾としてLEDライトを開発し、大手カバンメーカーが販売するビジネスバッグ、スーツケースに搭載されました。LEDライトの発光により早朝、夜間の視認性が向上し、安全性を高められます。今後は発電能力の向上を図るとともに、無線モジュールと接続した製品など他分野への展開も予定しています。



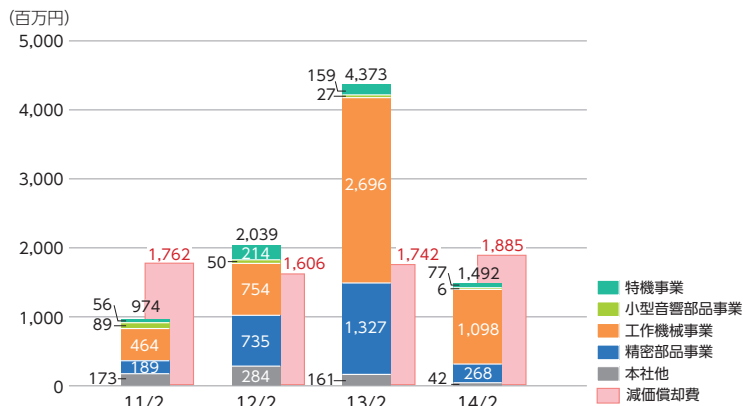
小型振動発電ユニットEH12

● 連結財務情報【要約】

連結貸借対照表の概要 単位:百万円



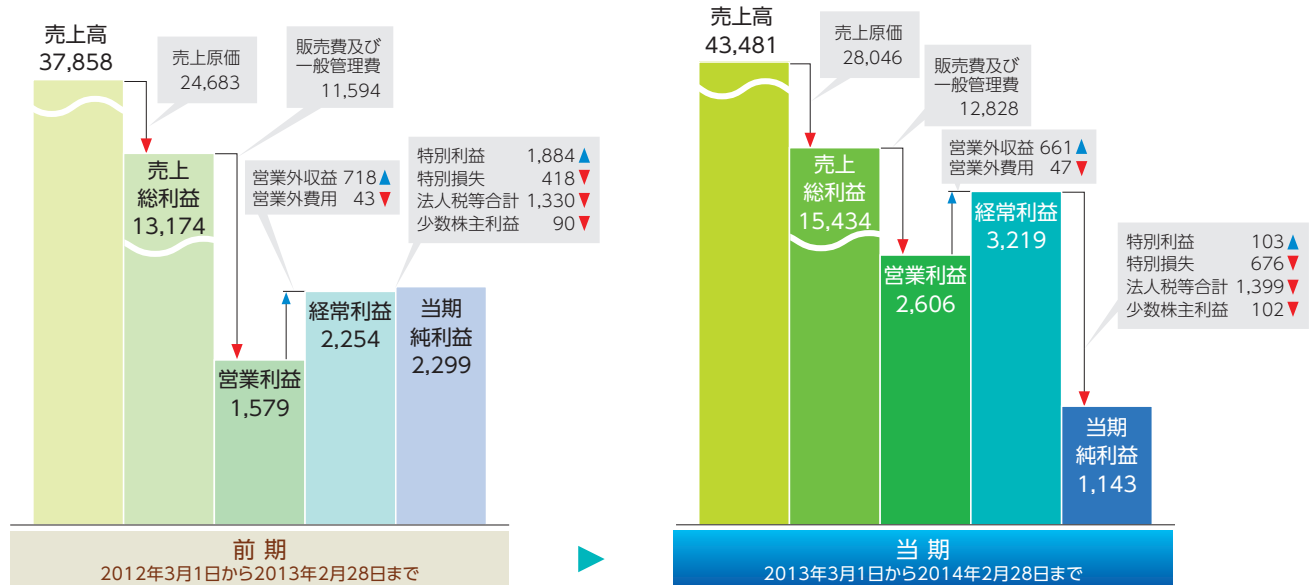
▶ 設備投資



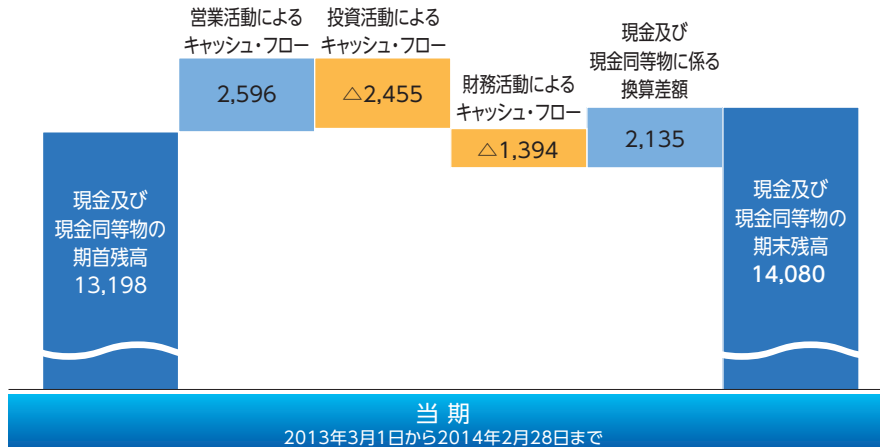
主な設備投資実績 (2014年2月期)

事業	内訳
特機事業	新製品用の金型等
工作機械事業	タイ新工場生産設備 合理化、維持更新等
精密部品事業	合理化、維持更新等
本社他	情報システム関連等

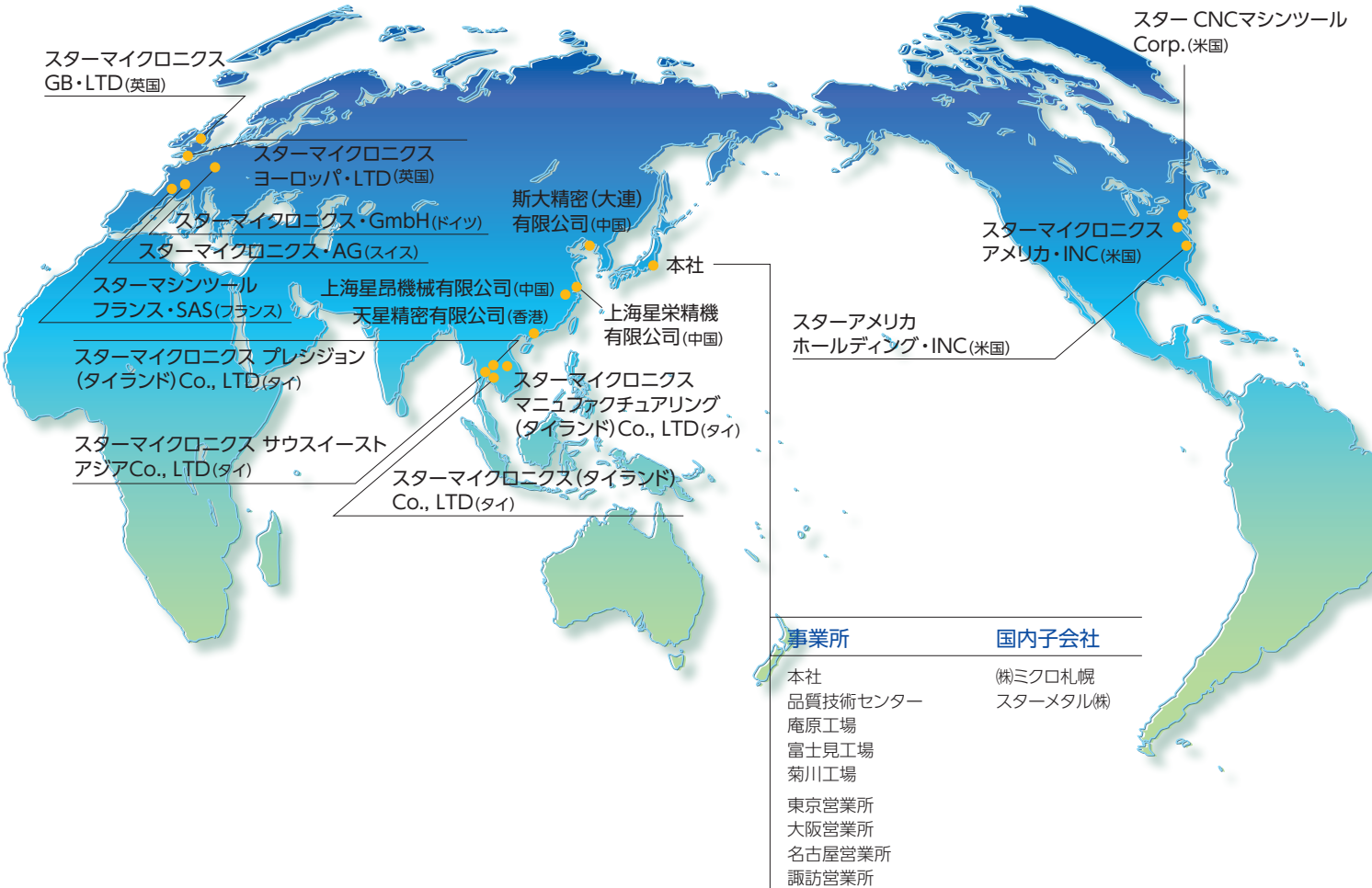
連結損益計算書の概要 単位:百万円



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 単位:百万円



グローバルネットワーク



会社概況・株式状況 (2014年2月28日現在)

会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	568名 (注)契約社員等の年間平均雇用人員64名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター、カードリーダーライター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品) ※当期中間報告書まで上記に加えておりました小型音響部品事業については、2014年1月1日付でフォスター電機株式会社への事業譲渡が完了し、事業を終息したため、上記から除いております。

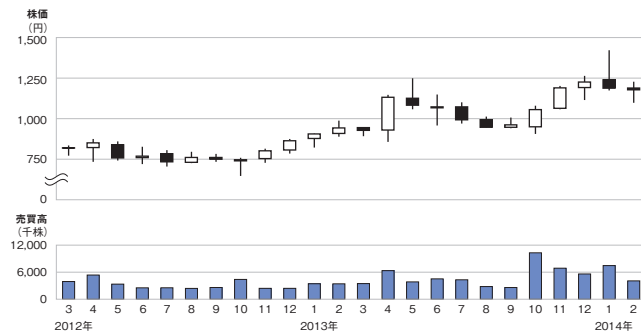
役員 (2014年5月22日現在)

代表取締役社長	佐藤 肇	執行役員	青木 隆之
常務取締役	田中 博	執行役員	杉浦 啓之
常務取締役	佐藤 衛	執行役員	西沢 良和
取締役執行役員	倉前 隆	執行役員	山梨 正人
取締役執行役員	村上 淳一		
取締役(社外)	岩崎 清悟		
常勤監査役(社外)	坪井 孝男		
監査役(社外)	洞江 秀		
監査役(社外)	杉本 基		

株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	47,033,234株
株主数	8,562名

株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)

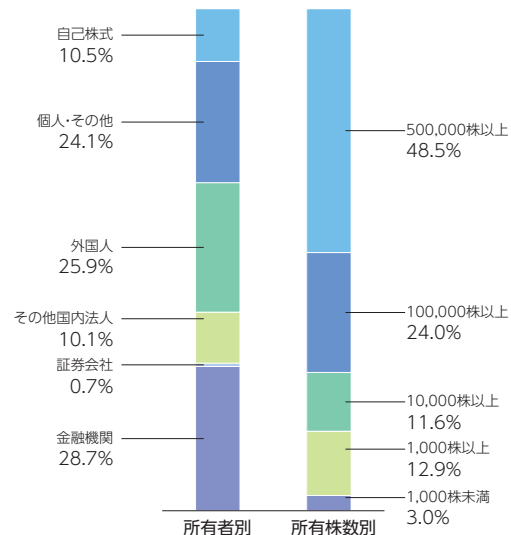


大株主 (上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,834	6.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,133	5.1
シチズンホールディングス株式会社	2,058	4.9
株式会社静岡銀行	1,582	3.8
株式会社みずほ銀行	1,348	3.2
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVI01	1,290	3.1
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	1,251	3.0
リズム時計工業株式会社	1,006	2.4
ザ バンク オブ ニューヨーク - ジャスディック ノン トリーティー アカウント	888	2.1
鈴木 通	712	1.7

(注1) 当社は、自己株式4,934千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別・所有株数別分布状況



事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (http://www.star-m.jp)
単元株式数	100 株

●ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.star-m.jp>



株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取および買増請求 ● 配当金の受領方法のご変更 	口座をお持ちの証券会社	特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社* 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) ※三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)においてもお取次しております。 《郵便物送付先・連絡先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> ● 未受領の配当金に関するお問合せ ● 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	すべての株主様 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。 《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)	

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

